

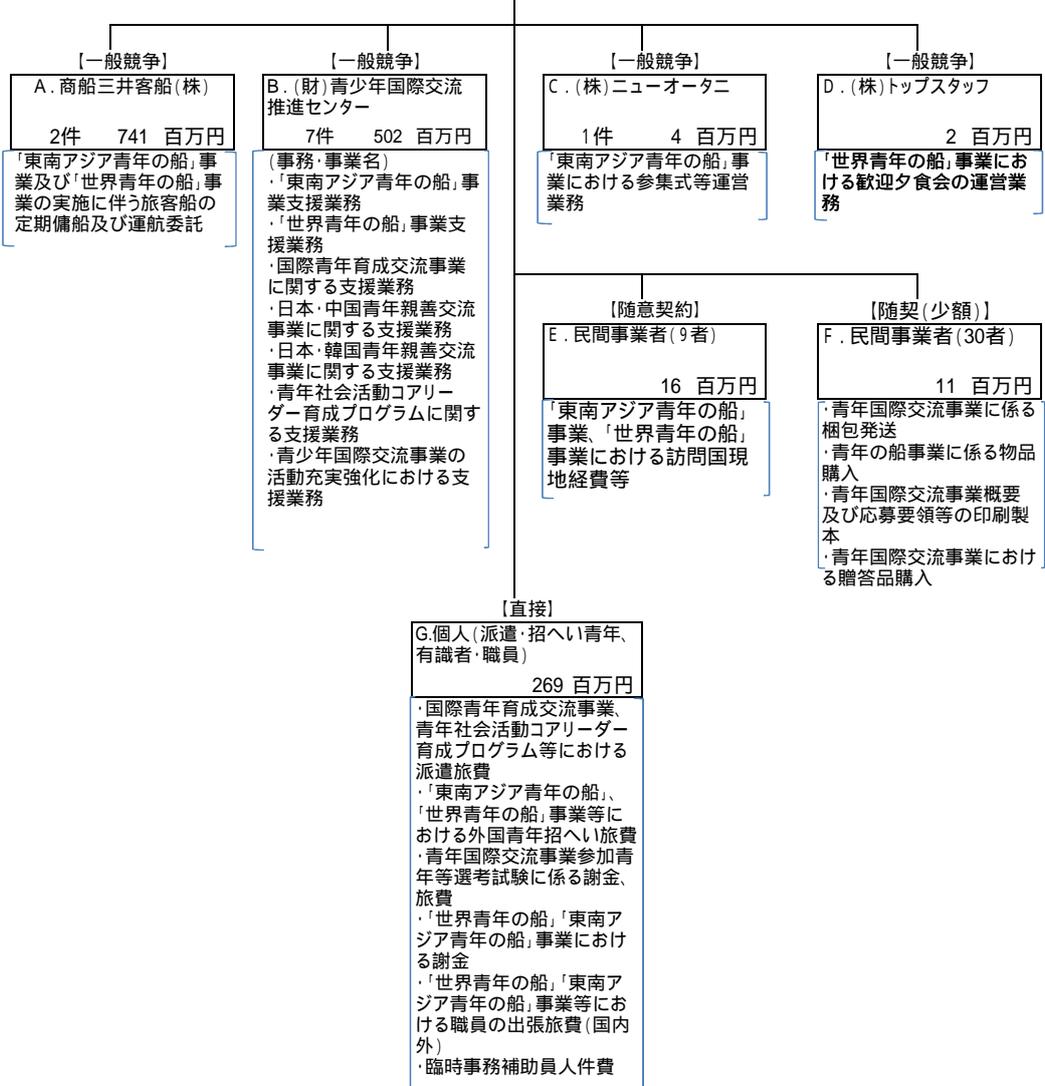
平成24年度行政事業レビューシート(内閣府)

事業名	青年国際交流経費		担当部署	政策統括官(共生社会政策担当) (子ども・若者子育て施策総合推進室)	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和34年度		担当課室	参事官(青年国際交流担当)	参事官 久津摩 敏生			
会計区分	一般会計		施策名	59 青年国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法 第4条第3項二十七 青少年の健全な育成に関する関係行政機関の事務の連絡調整及びこれに伴い必要となる当該事務の実施の推進に関する事		関係する計画、通知等	「子ども・若者ビジョン」(平成22年7月23日 子ども・若者育成支援推進本部決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神やリーダーシップを持った青年を育成する。 国境を越えた青年相互の友好と理解を促進し、長期にわたる緊密な人的つながりを形成する。 に加え、国家間の友好・親善を推進する重要な事業として実施することにより、我が国の外交及び国際交流の基盤形成に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・航空機による派遣・招へい事業及び船による多国間交流事業を実施。 ・わが国及び諸外国から選抜された参加青年が、世界的な共通課題についての研究・討議、自国文化の紹介などの各種交流活動、産業・文化・教育施設等の視察・意見交換、船内での共同生活、訪問国でのホームステイなどを行う。 ・参加青年は、各国の代表者として、皇太子殿下の御接見などを賜ったり、各国の元首級等を表敬訪問。 ・これまでに、日本青年約16,000人、外国青年約19,000人が事業に参加。日本を含む世界50ヵ国以上で事後活動組織が設立され、世界的なネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。 (別添参照)							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度		
		当初予算	1,580	1,565	1,464	1,312	1,052	
		補正予算	0	0	0	0	-	
		繰越し等	0	0	0	0	-	
	計	1,580	1,565	1,464	1,312	1,052		
	執行額	1,703	1,661	1,545				
執行率(%)	107.80%	106.20%	105.50%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)	
	青年国際交流事業の各事業における参加青年アンケート調査において、事業参加者が青年本人の将来に役立つと思う者の割合	成果実績	%	83	93	94	90	
		達成度	%	92.2	103.3	104.4		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	国際青年育成交流事業、日本・中国青年親善交流事業、日本・韓国青年親善交流事業、「世界青年の船」事業、「東南アジア青年の船」事業、青年社会活動コアリーダー育成プログラムにおいて、日本青年と外国青年の交流を行っている。	活動実績 (当初見込み)	人	日本参加青年 304人 外国参加青年 563人	日本参加青年 296人 外国参加青年 567人	日本参加青年 305人 外国参加青年 565人		
				日本参加青年 319人 外国参加青年 581人	日本参加青年 315人 外国参加青年 581人	日本参加青年 315人 外国参加青年 569人	日本参加青年 252人 外国参加青年 498人	
単位当たりコスト	44,497 (円/日数×人数)		算出根拠	事業のための予算執行額/事業参加人数・交流日数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度当初予算	主な増減理由				
	諸謝金	418	505	○世界青年の船事業を計上しないとする一方、グローバル化に対応した人材を育成するための「グローバルリーダー人材育成事業」を計上するなど、プログラムの見直し ○国際航空券の見直し等による経費削減				
	職員旅費	16	12					
	青年海外派遣旅費	71	15					
	委員等旅費	1	1					
	外国人招へい旅費	182	90					
	庁費	10	4					
	青年の船運航費	615	425					
計	1,312	1,052						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・グローバル人材の育成は、我が国の最重要課題の一つ。 ・「子ども・若者ビジョン」において国際交流活動を育成施策の一つとして位置付けている。 ・国家間の友好・親善を推進する重要な事業であり、国が実施する必要がある。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途、費目		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先の選定に当たっては、基本的に一般競争入札を行っている。 ・毎年事業内容の見直しを行うとともに、既参加青年を始めとするボランティアの支援等により、経費の削減に努めている。 ・日本参加青年は、応分の費用負担をしている。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・グローバル化に対応した青年層の育成と外交・国際交流の基盤形成に資する事業として、高く評価されている。 ・成果目標の達成度は着実に向上しており、活動実績も見込みに見合ったものとなっている。 ・事業に参加した青年が組織する日本及び世界50か国以上に設立された各国事後活動組織は、ネットワークを発展させるとともに、様々な社会貢献活動を行っている。
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・経費については、参加国数、事業日数の絞込みなどの事業内容の見直しや効率化を進め、可能な限りの縮減を図っている。青年国際交流事業は、青年の国際交流を通じた外交基盤の強化と青年の育成という二つの観点から重要な事業であり、今後とも、効率化を図りながら、その内容の充実を図っていく必要がある。</p> <p>・予算執行額が予算を上回っている現状を踏まえ、予算の見直しを進めるとともに、引き続き地方自治体や青少年団体等による支援・協力を求めるなどを通じて、予算の一層の効果的・効率的な執行に努める。</p> <p>・参加青年は、事業参加後に国際機関や各国の政財界を含む多様な分野で活躍している。また、国境を越えた生涯にわたる強い人的つながりが築かれており、非営利の活動団体「日本青年国際交流機構」及び世界50か国以上で形成された事後活動組織を中心に、人的なネットワークを発展させるとともに、東日本大震災支援や途上国教育支援をはじめ、青少年育成や国際交流など様々な事後活動を活発に展開している。なお、日本参加青年のほぼ全員が、事業参加後に日本青年国際交流機構に入会している。(平成23年度は99%)</p> <p>・このような事業効果を対外的に発信し、事業の意義について理解を求めていくことが大切であることから、現在、ネットワークの形成状況、既参加青年の各界での活躍や社会貢献活動等の事後活動実績等を含め、より多角的な事業効果の取りまとめ・点検を行っているところである。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止		<p>全体プログラム、スキームの大幅な見直し、改善、効果測定が無い限り廃止するべきである。様々な御意見があったことを踏まえて、十分検討し対応する。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(平成25年度予算における反映状況等)			
縮減		<p>○「世界青年の船」事業の予算計上を行わない一方、グローバル化に対応し、経済再生、復興、地域活性化を牽引する人材を育成するため、「グローバルリーダー人材育成事業」の計上を行うなど、事業枠組みの見直しを行うとともに、経費削減、自己負担の増加、予算の大幅削減を行う。</p> <p>○日本参加青年の自己負担額を大幅に引き上げる。一方で負担能力が低いなどの事情のある者のために、軽減措置を設ける。</p> <p>○既参加青年や民間企業からの寄付金確保のため、寄付金の受入窓口のあり方、税控除、事業に使用するための仕組み等を検討する。</p> <p>○備船の発注契約の合理化のための取組を行うほか、平成25年度において、国際航空券の見直し、行事の簡素化、民間企業からの協賛(物品供与)などの経費削減の取組を行うとともに、各経費についても不断の見直しを行う。</p> <p>○外国既参加青年について、事後活動組織(OB組織)の組織化やリスト化に取り組むとともに、在外公館と外国人OB組織の連携を深める。</p> <p>○青年国際交流事業の企画・評価委員会を設けて、定期的に有識者等によるチェックを行い、PDCAサイクルを強化するとともに、効果の「見える化」を進める。</p> <p>なお、効果測定については、政策評価、外交等の有識者からなる「青年国際交流事業の効果測定・評価に関する検討会」を開催し、中間報告が取りまとめられた。</p>	
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		0127	平成23年行政事業レビュー
			0134

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)
1,545 百万円

日本と諸外国の青年の交流により、相互理解と友好を促進し、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを促進



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目と
 使途の双方で実
 情が分かるよう
 に記載)

A.商船三井客船(株)			E.KARUSAN TRAVELS[PVT]LIMITED		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備船料		531	借料	スリランカ民主社会主義共和国 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借り上げ料	3
運航経費	港費、燃料費、運航消耗品費、供食費等	161			
運航委託手数料		49			
計		741	計		3
B.(財)青少年国際交流推進センター			F.メディアランド(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員の人件費	121	印刷製本費	青年国際交流事業概要及び応募要領外	2
旅費	青年の旅費	117			
会議費	レセプション、飲料、弁当、茶菓等	59			
諸謝金	講師、通訳、実行委員への謝金	57			
雑役務費	文具、保険料、入場料、工芸材料費	53			
借料	会場、バス、トラック、コピー機、PC等	50			
その他	一般管理費	44			
計		502	計		2
C.(株)ニューオータニ			G.個人		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	レセプション	3	賃金		4
借料	会場の賃借料	1			
役務費	看板外	0			
計		4	計		4
D.(株)トップスタッフ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
会議費	レセプション	1			
借料	会場の賃借料	0			
役務費	看板外	0			
計		2	計		

支出先上位10者リスト

A.商船三井客船(株)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	商船三井客船(株)	「東南アジア青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託	417	1者	-
2		「世界青年の船」事業実施に伴う旅客船の定期備船及び運航委託	323	1者	

B.(財)青少年国際交流推進センター

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)青少年国際交流推進センター	「東南アジア青年の船」事業支援業務	144	1者	-
2		「世界青年の船」事業支援業務	107	1者	
3		国際青年育成交流事業支援業務	89	1者	
4		青年社会活動コアリーダー育成プログラム支援業務	81	1者	
5		日本・韓国青年親善交流事業支援業務	32	1者	
6		青少年国際交流事業の活動充実強化支援業務	26	1者	
7		日本・中国青年親善交流事業支援業務	23	2者	

C.(株)ニューオータニ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ニューオータニ	「東南アジア青年の船」事業における参集式等運営業務	4	2者	-

D.(株)トップスタッフ

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)トップスタッフ	「世界青年の船」事業における歓迎夕食会の運営業務	2	1者	-

E.民間事業者(9者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	KARUSAN TRAVELS[PVT]LIMITED	スリランカ 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	3	随意契約	-
2	M.H.T(INDIA)TOURS & TRAVELS	インド 寄港地活動に要するハイヤー及びバス借上げ料	3	随意契約	-
3	N.J.TOURS SDN.BHD	マレーシア 寄港地活動用バス・ハイヤー借料	2	随意契約	-
4	FREME TRAVEL SERVICES SDN.BHD.	ブルネイ 寄港地活動用バス・ハイヤー借料	2	随意契約	-
5	PT.Panda Travel Agency Indonesia	インドネシア 寄港地活動用バス・ハイヤー借料	2	随意契約	-
6	Experience Pilipinas Travel and Tours	フィリピン 寄港地活動用バス・ハイヤー借料	2	随意契約	-
7	LIEN BANG TOURISM&TRADING CO.,LTD	ベトナム 寄港地活動用バス・ハイヤー借料	2	随意契約	-
8	KENTOS SERVICES PTE LTD	シンガポール 寄港地活動に要するハイヤー借上料	0	随意契約	-
9	VLK Royal Tourism Co.,Ltd	カンボジア 訪問国活動用バス借料	0	随意契約	-

F.民間事業者(30者)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	メディアランド(株)	青年国際交流事業 事業概要及び応募要領等の印刷製本	2	随契(少額)	-
2	朝日梱包(株)	平成24年度内閣府青年国際交流事業参加青年募集関係書類の梱包発送等	1	随契(少額)	-
3	(有)創電社	平成23年度「東南アジア青年の船」事業(第38回)に係る無線機等の購入	1	随契(少額)	-
4	(株)三陽堂	メンディングテープ等の購入	1	随契(少額)	-
5	富士ゼロックス(株)	複写機の借上げ・保守及び搬入出作業一式	1	随契(少額)	-
6	(株)丸井工文社	平成23年度「東南アジア青年の船」事業(第38回)PROGRAM FILE等の印刷製本	1	随契(少額)	-
7	(株)祐馬工芸	青年国際交流事業外国参加青年等に対する贈答品の購入	1	随契(少額)	-
8	(株)植むらフーズ	「東南アジア青年の船」事業(第38回)関係各国連絡会議等のレセプション	0	随契(少額)	-
9	(株)マツモトキヨシ	薬等の購入	0	随契(少額)	-
10	(株)あまの創健	医療・衛生用品等の購入	0	随契(少額)	-

G. 個人

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A(職員)		4		
2	個人B(職員)		2		
3	個人C(職員)		2		
4	個人D(職員)		1		
5	個人E(職員)		1		
6	個人F(招へい青年)		1		
7	個人G(招へい青年)		1		
8	個人H(招へい青年)		1		
9	個人I(招へい青年)		1		
10	個人J(招へい青年)		1		